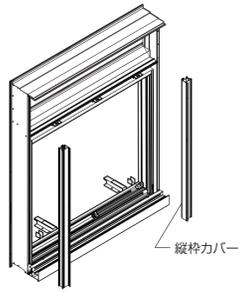
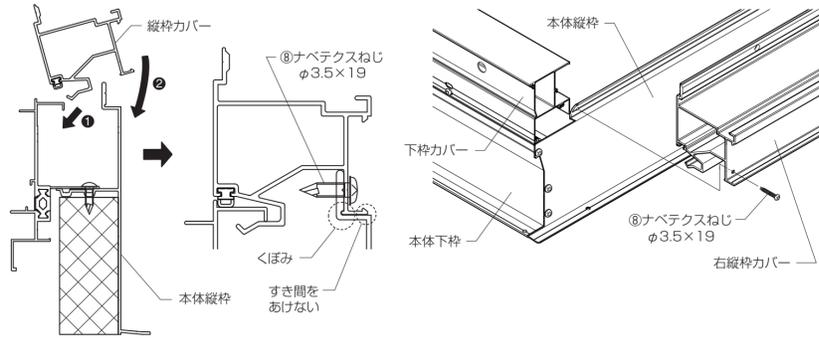


6 縦枠カバーの取付け



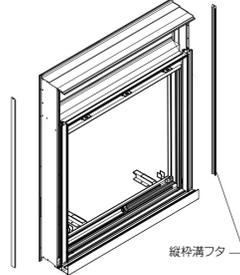
6 縦枠カバーの取付け

- 縦枠カバーを内窓縦枠に引っ掛け、突起を縦枠カバー取付けフィンのくぼみに合わせてねじ止めします。
- ※上シールが張ってある縦枠カバーをシールの張っている方を上にして右縦枠カバーとして使用してください。
- ※縦枠カバーと本体縦枠にすき間ができないようにしてください。
- ※縦枠カバーを端から順番に押し込みながらはめ込み、下枠カバーに当てて上下方向の位置を合わせてねじ止めしてください。



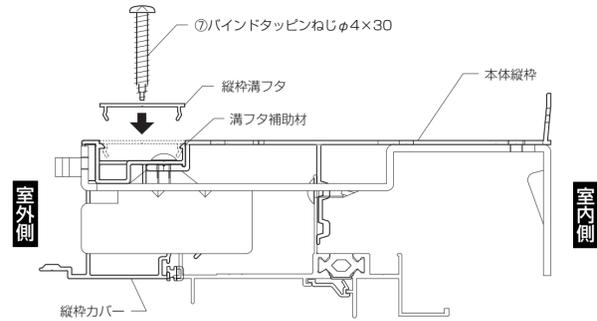
※上下方向は、下枠カバーに軽く当てます。

7 縦溝フタの取付け

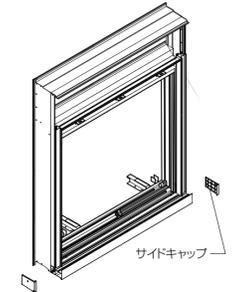


7 縦溝フタの取付け

- シーラーの張っている方を上にし、天板の上面と縦溝フタの上端面を合わせてからねじ止めし、縦溝フタをはめ込んでください。
- はめ込みにくいときは、当て木してプラスチックハンマーでたたいてはめ込んでください。
- ※縦溝フタは、浮きがなく奥まで入っていることを確認してください。

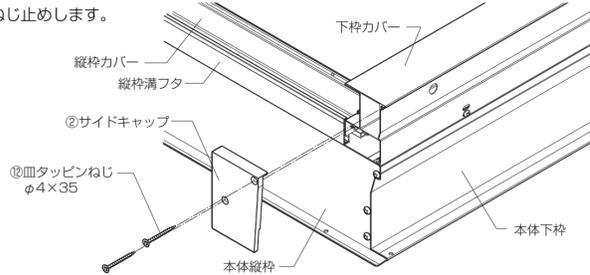


8 サイドキャップの取付け

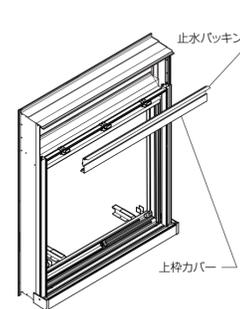


8 サイドキャップの取付け

- サイドキャップを下枠カバーにねじ止めします。

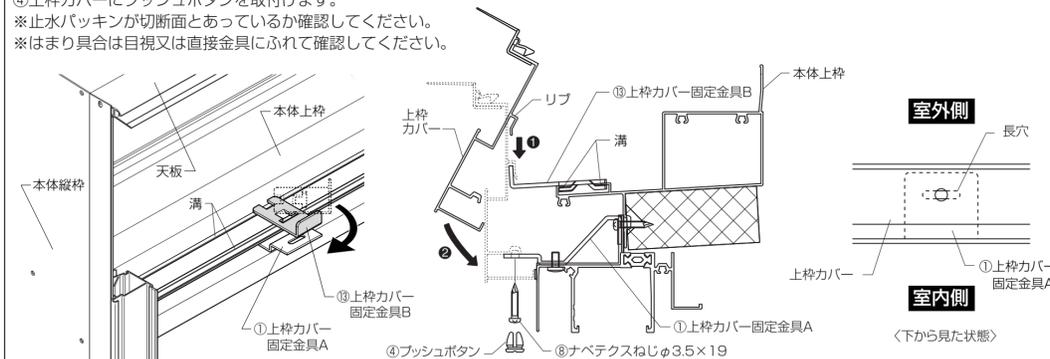


9 上枠カバーの取付け



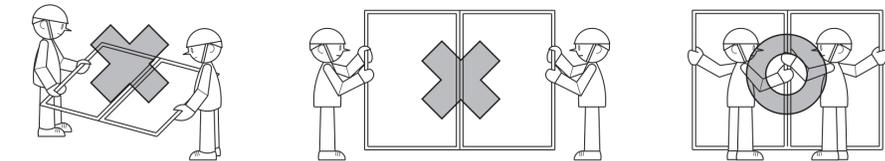
9 上枠カバーの取付け

- ①上枠カバー固定金具Bを、上枠カバー固定金具Aの位置に合わせて本体上枠の溝に入れ、時計回りに回して取付けてください。
- ②上枠カバーのリップを上枠カバー固定金具Bに引っかけてから回転させ、はめ込んでください。
- ③左右のチリを合わせて、上枠カバー固定金具Aの長穴を狙って上枠カバーにφ2の下穴をあけねじ止めします。
- ※上枠カバー固定金具Aは長穴になっていますので、左右のチリが均一にならない場合は一度緩めてチリを合わせて、同じねじ穴を使用してください。(チリは片側で最大1mm)
- ④上枠カバーにプッシュボタンを取付けます。
- ※止水パッキンが切断面とあっているか確認してください。
- ※はまり具合は目視又は直接金具にふれて確認してください。



■組立て後の取扱いとお願い

- 組立てた後、サッシ枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけると枠が変形するおそれがあります。
- 移動する場合は立てたまま縦枠部分をしっかり支持し、重量の重い連窓の場合は方立部分も支持してください。



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

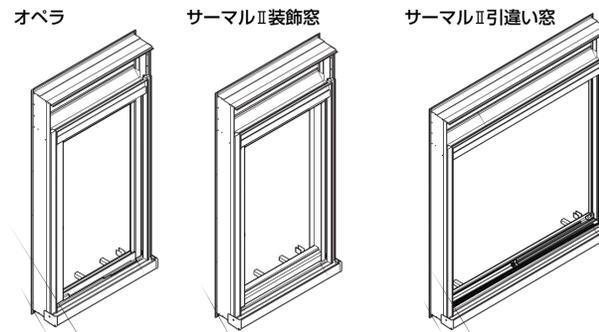
●雨漏りの原因になるおそれがあるため、下記事項を厳守してください。

- ・縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・本体上枠・本体下枠の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。
- ・ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。
- ・連窓方立が上枠カバーの穴位置にない場合、方立上部キャップを外さないでください。
- ・方立用シール材は、内窓上枠および連窓方立の形状に合わせて張ってください。
- ・内窓縦枠が位置決めピースに当たっていることを確認してください。
- ・連窓セットを取付ける場合、排水のため連窓方立下部キャップに必ず穴あけ加工してください。

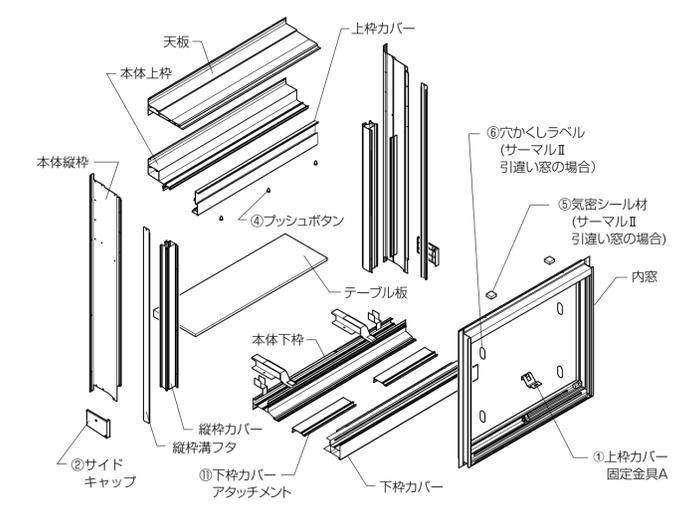
■組立て上のお願

- 内窓は性能や仕様を選択していただくため、別売りとなっています。
- テーブル板は色柄及び形状(角型、ポストフォーム型)を選択していただくため、別売りとなっております。
- テーブル板に張ってある取付け説明書は、はがさないでください。
- 内窓の組立てについては、内窓に同梱の組立て説明書を確認してください。

■姿図



■各部名称図



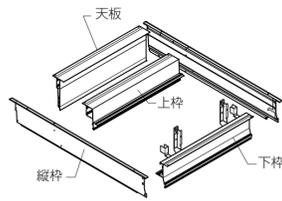
■組立て部品一覧表

※下表の番号は本文図中の番号を示します。間違いないよう使用してください。

番号	①			②	③	④	⑤	⑥
名称	上枠カバー固定金具A			サイドキャップ	方立用シール材	プッシュボタン	気密シール材	穴かくシラベル
姿図	サーマルII引違い窓用	サーマルII装飾窓用	オペラ用					
使用箇所	上枠-上枠カバー			縦枠下部	方立上部(連窓のみ使用)	上枠カバー	内窓上枠(サーマルII引違い窓のみ同梱)	内窓縦枠(サーマルII引違い窓のみ同梱)
袋表示	表示なし			組立用1				
番号	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	
名称	バインドタッピンねじφ4×30	ナベテクスねじφ3.5×19(色なし)	ナベテクスねじφ3.5×13(色付)	バインド小ねじM4×8	下枠カバーアタッチメント	血タッピンねじφ4×35	上枠カバー固定金具B	
姿図					サーマルII用 オペラ用			
使用箇所	上枠-縦枠 下枠-縦枠 天板-縦溝フタ	内窓-本体 縦枠-縦枠カバー 上枠カバー固定金具	下枠-下枠カバー	内窓上枠-上枠カバー固定金具 下枠カバー-下枠カバーアタッチメント	内窓下枠-下枠カバー	下枠-サイドキャップ	上枠-上枠カバー	
袋表示	組立用2	組立用2、カバー用	カバー用	組立用2	表示なし	組立用2	表示なし	

■組立て順序

1 本体上・下枠と縦枠の組立て



■組立て詳細

1 本体上・下枠と縦枠の組立て

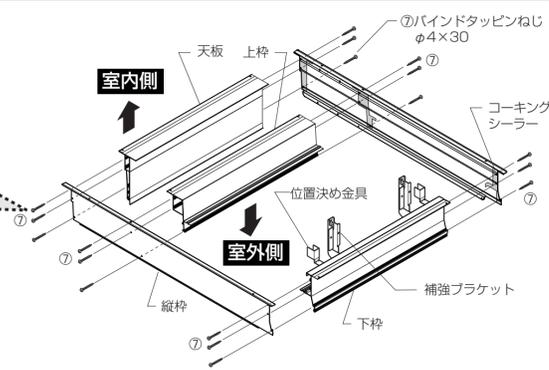
●各部材の室内外・室外側の向きを合わせ、ねじ止めしてください。
※ねじ止めの際は、補強ブラケットを上にして組立ててください。
補強ブラケットおよび位置決め金具が変形するおそれがあります。

▲注意

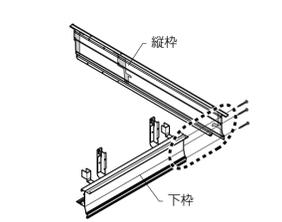
●漏水の原因になるおそれがありますので、ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・本体上枠・本体下枠にはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。

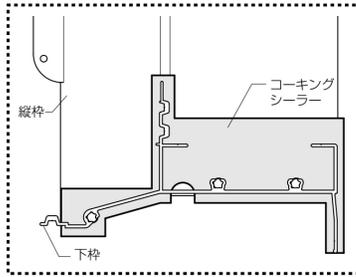
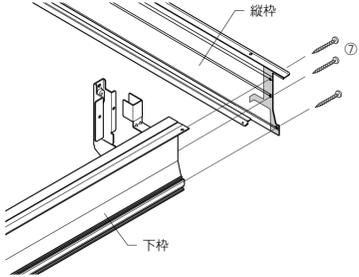


1 縦枠と下枠の組立て

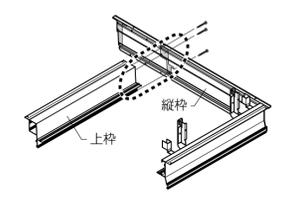


1 縦枠と下枠の組立て

●縦枠と下枠の位置を右図のように合わせて、ねじ3本を仮止めします。再度下枠の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。

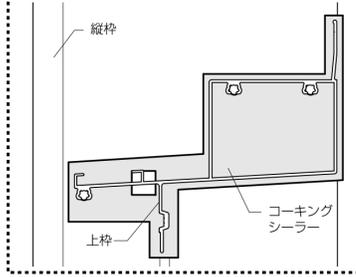
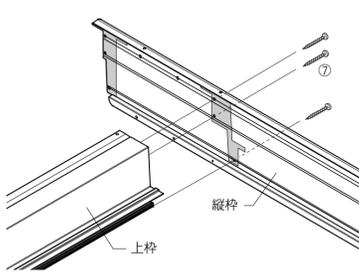


2 縦枠と上枠の組立て

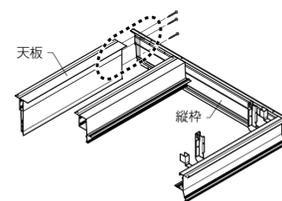


2 縦枠と上枠の組立て

●縦枠と上枠の位置を右図のように合わせて、ねじ3本を仮止めします。再度上枠の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。

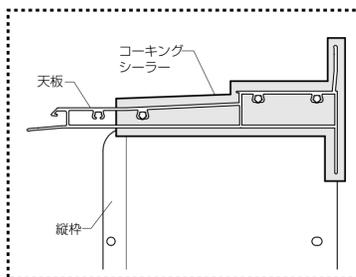
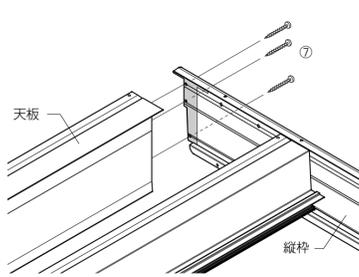


3 縦枠と天板の組立て

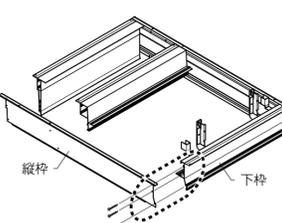


3 縦枠と天板の組立て

●縦枠と天板の位置を右図のように合わせて、ねじ3本を仮止めします。再度天板の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。

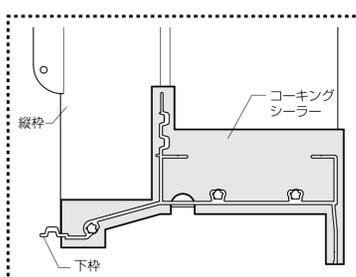
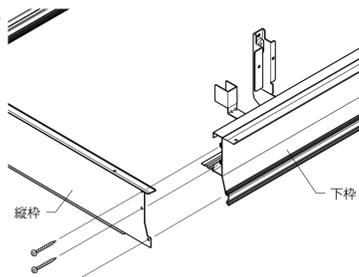


4 縦枠と下枠の組立て

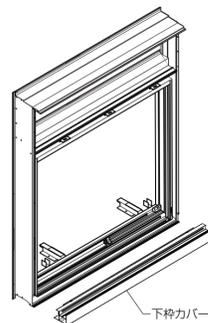


4 縦枠と下枠の組立て

●縦枠と下枠の位置を右図のように合わせて、ねじ3本を仮止めします。再度下枠の位置合わせをして室内側のねじから順に固定します。

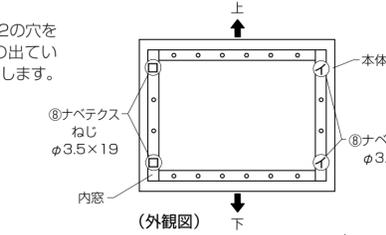


5 下枠カバーの取付け



③ 内窓を本体に仮止めします。

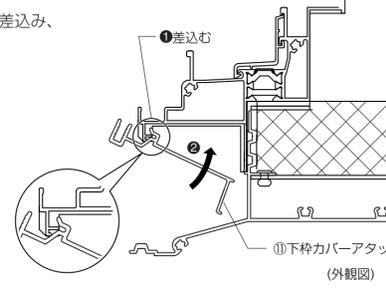
※スリ防止のため、④を釘穴を利用してφ2の穴を電動ドリルであけ固定し、内窓の対角の出ている事を確認して、⑤にφ2の穴をあけ固定します。(対角寸法の差は2mm以内)



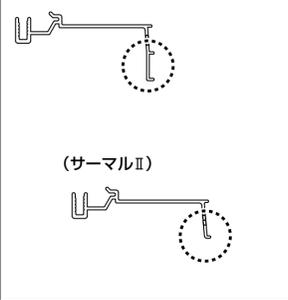
▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

④ 下枠カバーアタッチメントを内窓下枠に差込み、回転させて引っ掛けます。



【下枠カバーアタッチメント断面図】(オペラ)



⑤ 下枠カバーアタッチメントを内窓下枠の釘穴を利用してφ2の下穴をあけねじ止めします。
※右表を参考に、先に釘穴位置で固定し、もう一方を下枠カバーアタッチメントの穴を利用してナベテクスねじφ3.5×19で固定します。
※連窓の場合は、方立側の釘穴を使用します。

W	下枠カバーアタッチメント使用数	内窓下枠釘穴数	下枠カバーアタッチメント固定位置と内窓下枠釘穴位置の関係
114,119,128,133	3	4	○ ● ○ ● ○ ● ○
160,165,178,183	4	4	○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○
		5	○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○
		6	○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○
220,233,243,256,270,283	5	6	○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○
		7	○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○
		8	○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○
165 TFT	4	—	○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○
165 TFFT, 4T	4	—	○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○
256,270,283 4T	5	—	○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○

方立側

方立 ○：内窓釘穴 ●：下枠カバーアタッチメントのもう一方の穴

⑥ 内窓上枠・縦枠および上枠カバー固定金具Aを固定します。

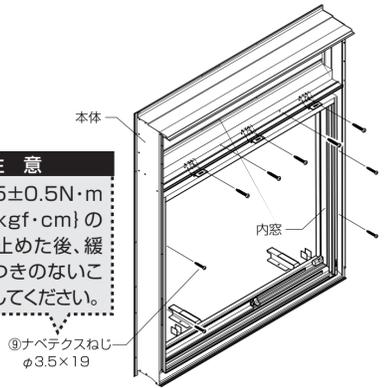
※連窓の場合で方立用シール材を使用する場合、上枠カバーの穴位置に上枠カバー固定金具Aを取付けます。
※内窓釘打ちフインの穴位置でねじ止めします。
※上枠カバー固定金具Aは、部品の穴を利用してねじ止めします。
※固定後、全ての釘穴にねじが止まっていることを確認してください。
※ねじは余る場合があります。
※上枠カバー固定金具Aが全て止まっていることを確認してください。

●お願い

※連窓窓数が多い場合、釘穴数に対してねじ本数が足りない場合があります。ねじが足りない箇所についてはφ3.4のキリで穴あけ後、M4×12以上のバインド小ねじで固定してください。

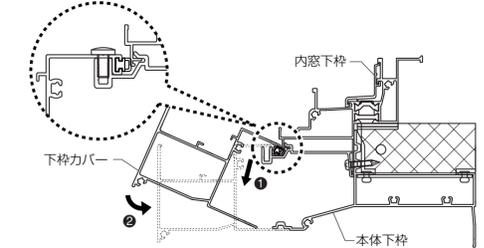
▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。

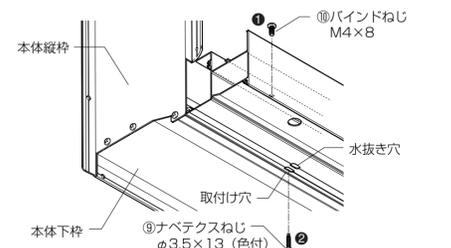


5 下枠カバーの取付け

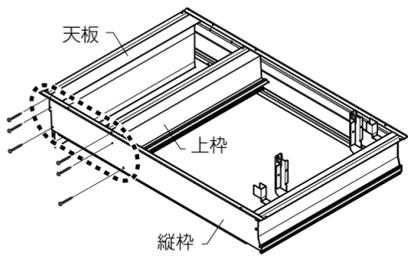
① 下枠カバーの端を本体と合わせて、リップを下枠アタッチメントカバーの引っ掛かりに端からはめ込んで回転させ、本体下枠にかぶせます。



② 左右のチリを合わせて、下枠カバーをバインドねじ (M4×8) にてねじ止めします。下枠カバー下部の取付け穴をφ2の下穴をあけ、ナベテクスねじ (φ3.5×13) にてねじ止めします。
※下枠カバーは長穴になっていますので、左右のチリが均一にならない場合は、一度緩めてチリを合わせて締直してください。



⑤ 縦枠と上枠・天板の仮止め

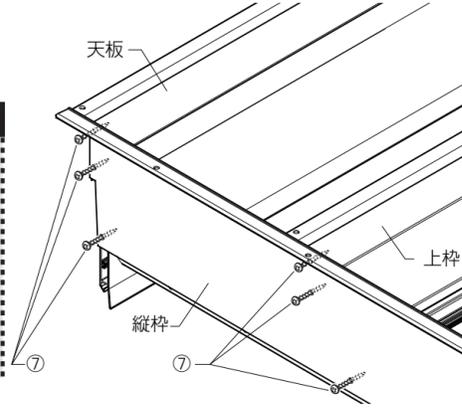


⑤ 縦枠と上枠・天板の仮止め

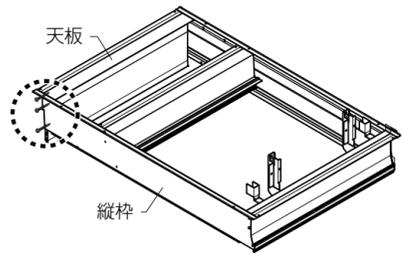
●縦枠と上枠・天板の位置合わせをし、ねじの先端を差込み、2~3回転ほど締めて仮止めます。

▲ 注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。

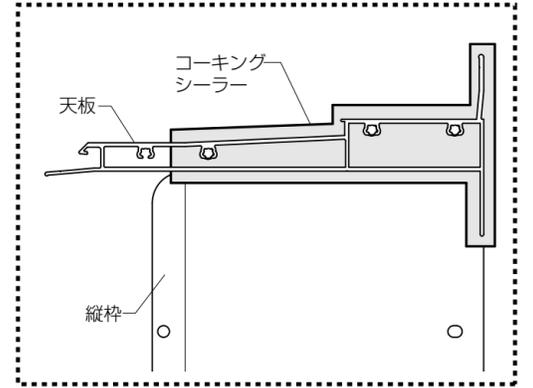
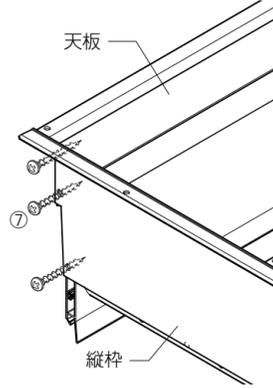


⑥ 縦枠と天板の固定

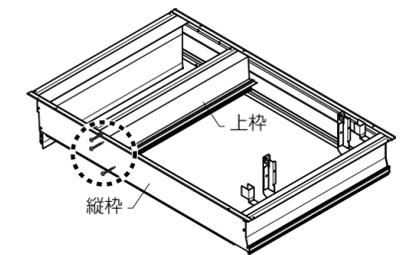


⑥ 縦枠と天板の固定

●縦枠と天板の位置を右図のように合わせて、室内側のねじから順に固定します。

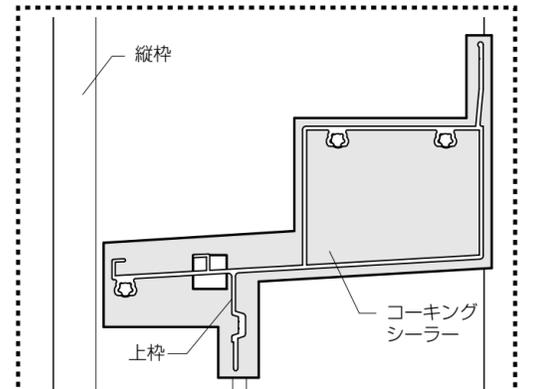
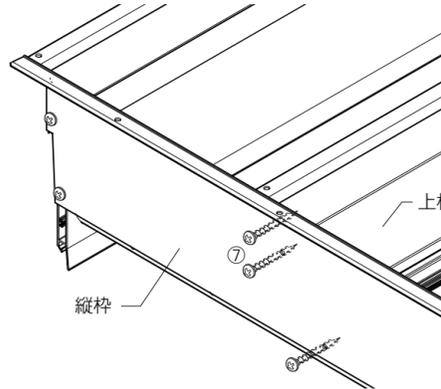


⑦ 縦枠と上枠の固定

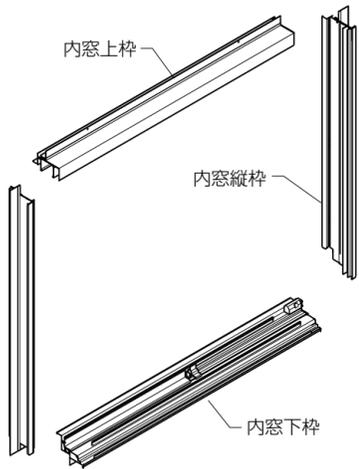


⑦ 縦枠と上枠の固定

●縦枠と上枠の位置を右図のように合わせて、室内側のねじから順に固定します。



② 内窓の組立て

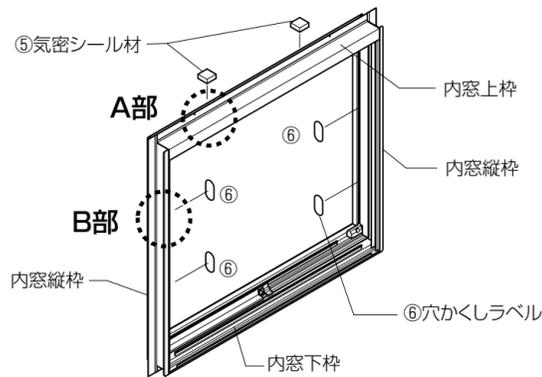


② 内窓の組立て

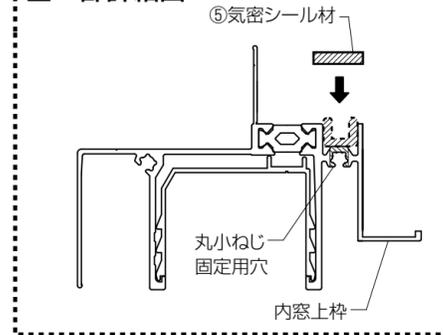
①内窓に同梱の組立て説明書を参考にして組立てます。
 ※障子は組立てのみで、建込みは枠の取付け後に行います。
 ※組立てができなくなるおそれがあるため、内窓が連段窓の場合は製品が基本寸法通り組立てられているか確認してください。
 ※内窓のW出来寸法が正規の寸法に対して2mmをこえる場合、本体左縦枠の上下にある位置決めピースを外します。

(サーマルII引違い窓のみ)

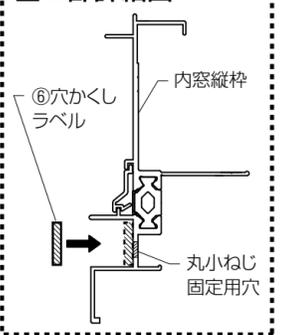
②内窓縦枠および上枠の丸小ねじ固定用穴をふさぎます。
 ※穴かかしラベルの色は、内窓の室内側形材色と同じ色のものをお使いください。
 ※気密シール材および穴かかしラベルは余る場合があります。



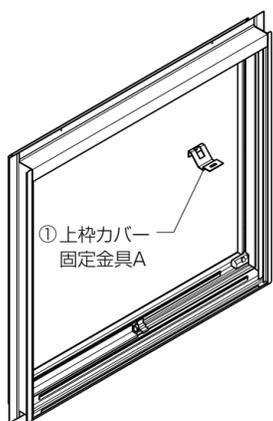
■ A部詳細図



■ B部詳細図



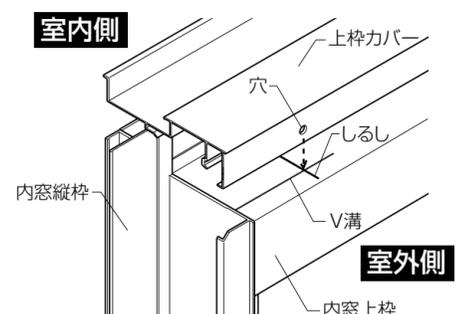
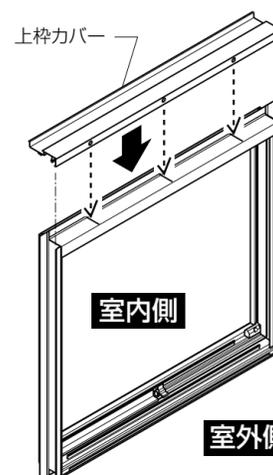
③ 上枠カバー固定金具Aの取付け・連窓下部キャップの加工



③ 上枠カバー固定金具Aの取付け・連窓下部キャップの加工

①上枠カバー固定金具Aの位置決めをするため、上枠カバーを内窓上枠の上に左右のチリを均等にのせ、上枠カバーの穴ピッチに合わせて内窓上枠上部（サーマルII引違い窓の場合はV溝付近）にマジックなどでしるしを付けます。
 ※チリを均等にしないと、上枠カバーを固定できないおそれがあります。
 ※連窓方立が上枠カバーの穴位置にある場合、①および⑥は不要です。

W寸法	729 ≤ W ≤ 1891	1891 < W ≤ 2870
穴数	3	5

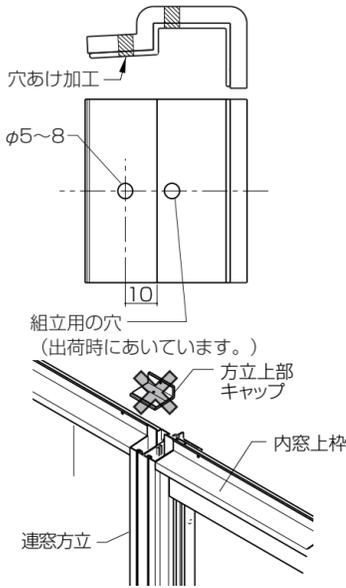


(②~④は連窓の場合のみ行ってください。)

②連窓下部キャップに右図のようにφ5~φ8程度の穴をあけてください。

▲注意

●連窓セットに窓モールを取付ける場合、連窓下部キャップに必ず穴あけ加工してください。

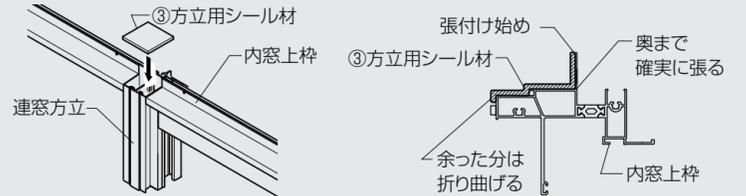


③連窓方立が上枠カバーの穴位置にある場合、方立上部キャップを外します。

④③で方立上部キャップを外した連窓方立上部に、左右のチリを均等にして方立用シール材を張ります。
※この場合、内窓枠の取付け時に上枠カバーの穴位置に上枠カバー固定金具Aを取付けます。

▲注意

●漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項を厳守してください。
・連窓方立が上枠カバーの穴位置にない場合、方立上部キャップを外さないでください。



・方立用シール材は、図のように内窓上枠および連窓方立の形状に合わせて張ってください。

(サマーⅡ引違い窓のみ)

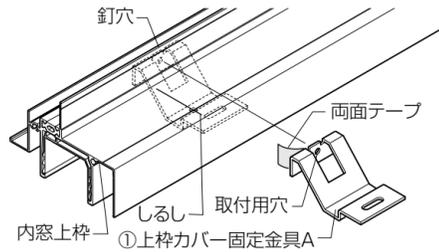
⑤①でしるしを付けた場所付近のV溝に、φ4.5の穴を電動ドリルであけます。

⑥上枠カバー固定金具Aの両面テープのリキ紙をはがし、内窓上枠に張ります。

※左右方向は、①のしるしが部品の中央に来るように位置決めします。〈図1〉

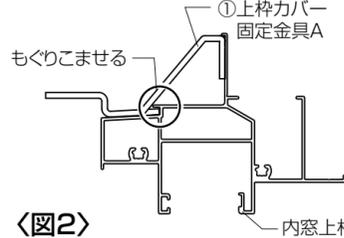
ただし、上枠カバー固定金具Aの取付用穴から内窓の釘穴が見える場合は、内窓の釘穴で位置決めします。上下方向は、内窓上枠に押付けます。

※装飾窓の場合、内窓上枠のフィンの下にもぐり込ませます。〈図2、3〉



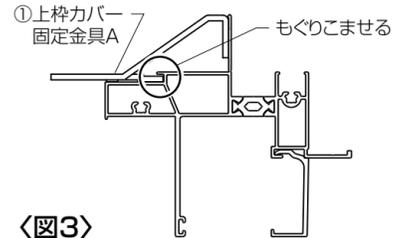
〈図1〉 内窓上枠 ①上枠カバー固定金具A

(オペラ)



〈図2〉

(サマーⅡ装飾窓)



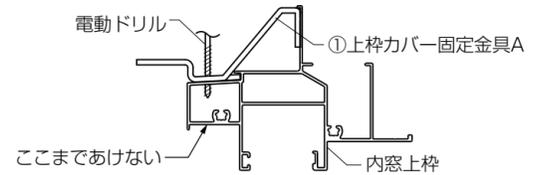
〈図3〉

(装飾窓のみ)

⑦上枠カバー固定金具Aの穴をガイドにし、手で押さえて内窓上枠にφ3.4の穴を電動ドリルであけます。

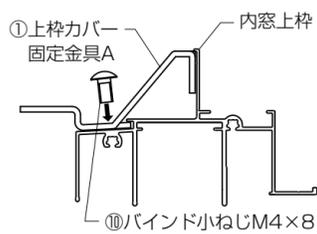
※穴は内窓上枠のタッピングホール位置に来る場合がありますが、問題ありません。

※内窓上枠がホローの場合、貫通しないようにします。

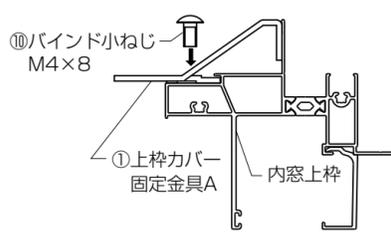


⑧上枠カバー固定金具Aをねじ止めします。

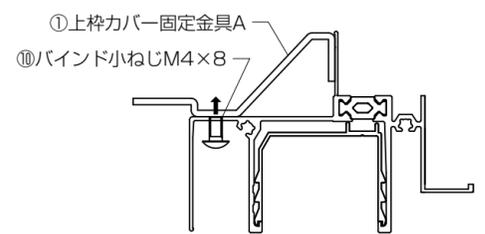
(オペラ)



(サマーⅡ装飾窓)



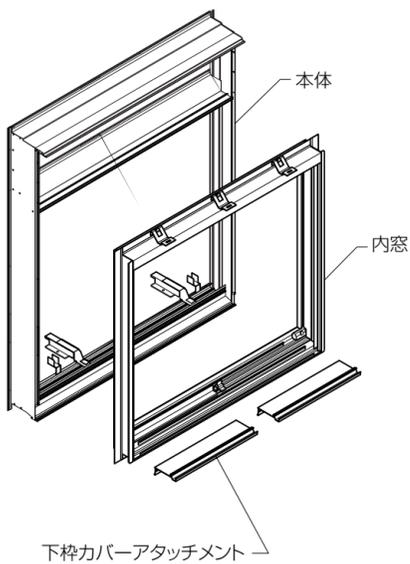
(サマーⅡ引違い窓)



お願い

※バインド小ねじM4×8は手回しドライバーで固定してください。締過ぎると下穴が大きくなり、固定できなくなるおそれがあります。

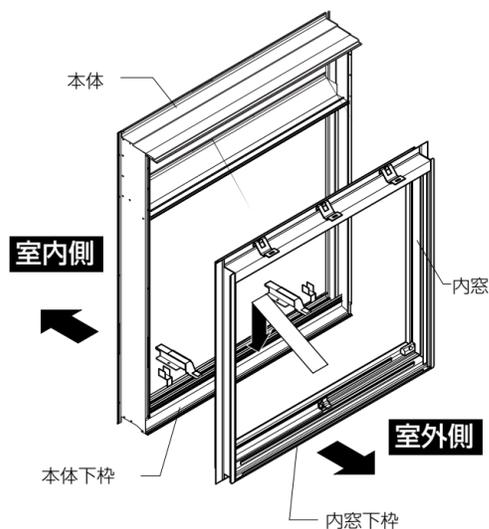
4 内窓枠の取付け



4 内窓枠の取付け

①本体枠を裏返します。

※補強ブラケットおよび位置決め金具が作業台に当たらないように注意してください。

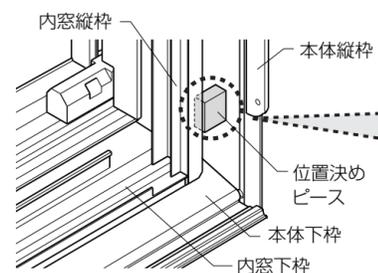
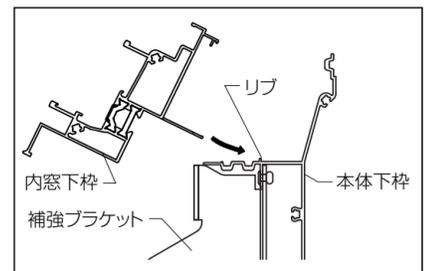


②内窓の下枠を斜めから本体下枠に滑り込ませ、上にのせます。

※必ず内窓下枠が補強ブラケットに当たっているか確認してください。

※補強ブラケットのないサイズの場合、型材のリブに当ててください。

※左右方向は、本体左縦枠にある位置決めピースに内窓縦枠を当てます。上下方向についても、それぞれ本体上下枠にある位置決めピースに、内窓の上下枠が当たっていることを確認してください。ただし、内窓のW出来寸法が正規の寸法に対して2mmをこえる場合、位置決めピースを外して、本体縦枠と内窓縦枠の左右のチリを均等にします。



▲注意

●内窓縦枠が位置決めピースに当たっていることを確認してください。